

風箏

丁酉隨才卷子

洋学文庫

文庫8

J 62

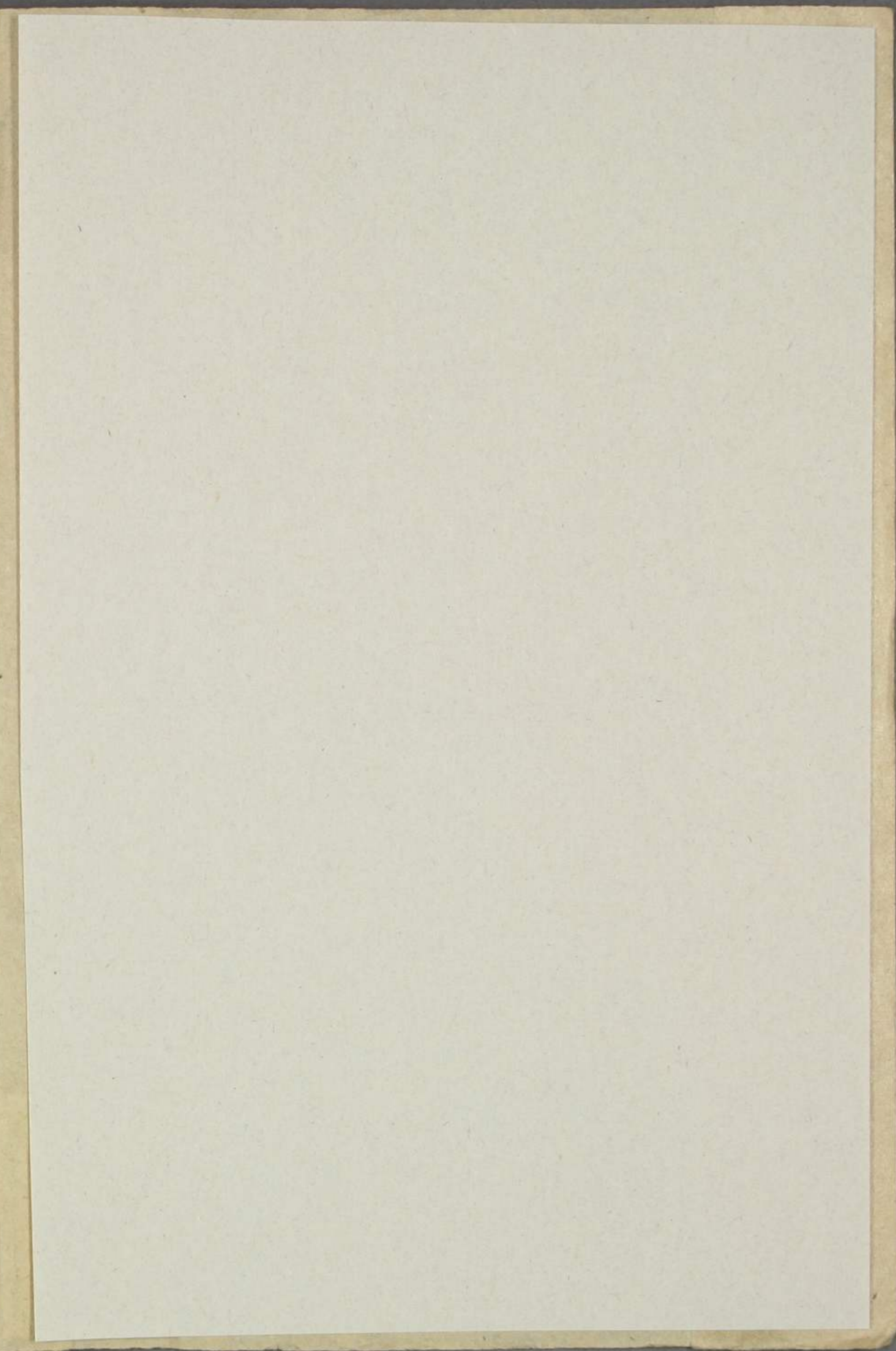
3



加竹寺
新在江子
力在尾

丁酉
加竹寺
神村
加り

加竹寺
神村
加り



Handwritten text: 秋二 秋二 秋二

Handwritten text: 40 二二二

Handwritten text: 書曰陰書記

Handwritten text: 陽書記

Handwritten text: 信子子



草木春秋 卷

潛研書詩文集 鍾大所

霜天曉角 詞二首 焦氏章集

以安排曲

盛仲交 閩古 編載 西天 曉
角 詞 二 首 不 知 何 人 作 佳 殊
為 策 策 可 以 醒 悟 也 功 名 大



少天已安排了... 爲用枯以失
方已... 何用苦... 苦沈全書作
強

○明齋少識... 蓮蓬痘... 毒多因

○忠雅堂集... 存心... 袁枚

食鯉魚鮓... 春西畫

畫和合

寒山拾得古... 齊厨向火無言
辭... 誰見之... 偷未寫作和
合... 饒舌... 邱悲... 三... 示現
空爾為世人... 相友... 藏怨... 李猫... 笑曰
常... 蓬... 赤... 髮... 脚... 不知... 游
戲... 何樂... 瓦... 鉗... 爭... 疑... 聚... 宝... 盆... 葫... 蘆
可... 交... 歡... 葉... 官... 街... 市... 肆... 慶... 縣

是仙是佛但一様。人情却是種。
雲傳拍手未分利市錢。

試以金銀估量秤砣和也。
言人乞沒可校。

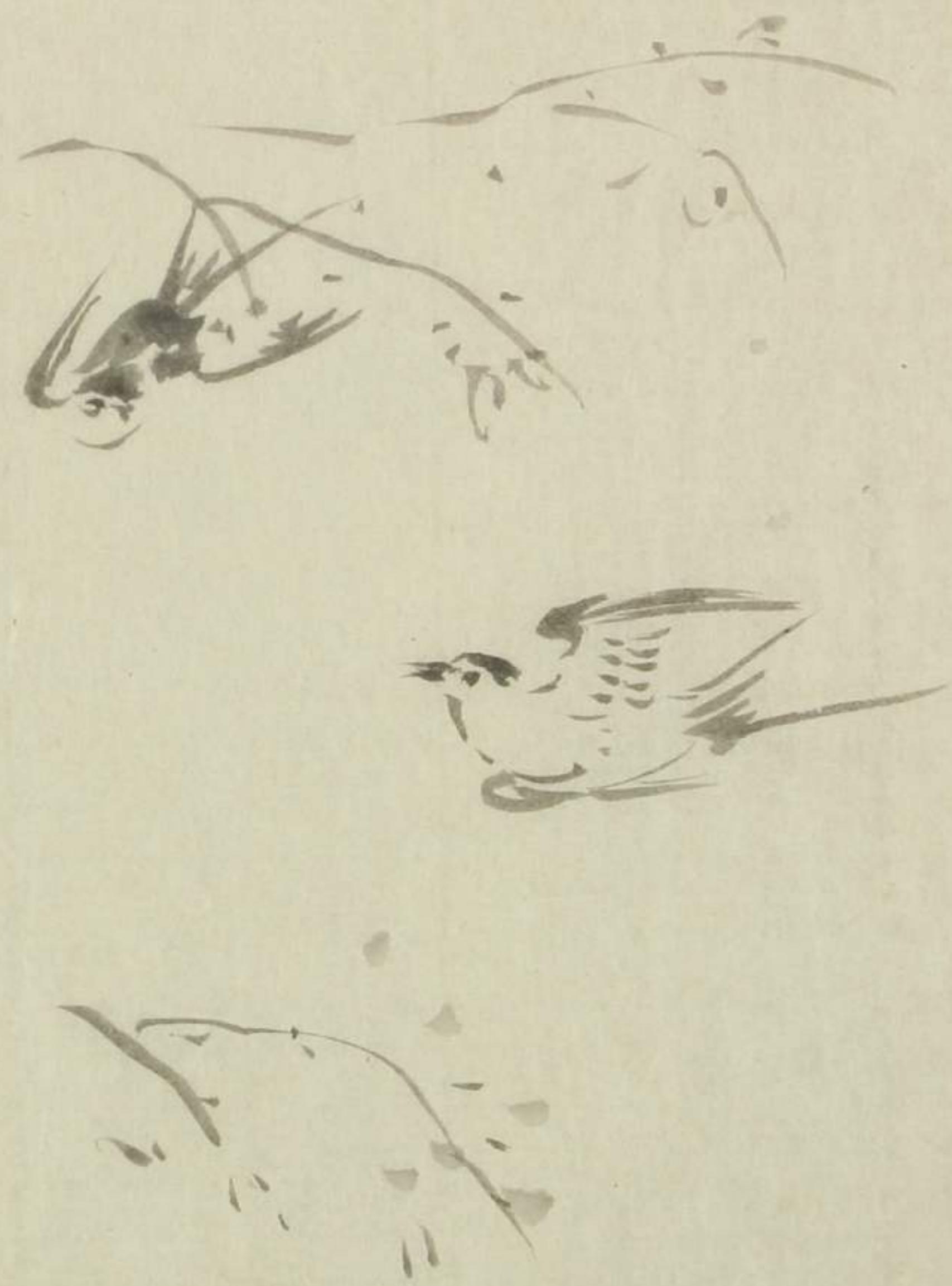
同如聖游田觀西洋島山

巨 欽天監正劉和能
孝治西洋人

既小言

清史 五二五二一五九
元壽沒霸機 乃以能初水

胎初



萬曆丁亥秋周亮工寫

三
日
寫
一
日
明
版





桂枝舟遊
泉石
札

宋紫石寫時年六十有五



脈石來

金水徳たし 江之孫
清実

細花ハハ

紫花ムラサキ

千々チチリリカカヤヤイイ 井路イヅミ 三ミツツツツツツ

竹タケ花ハナまままま

石イシ南ミナミ 別ワケ村ムラ 園エン 池イケ

同ドウ中のナカ 園エン 池イケ

横印ヨコイン 五イ六ロク七シチ

山ヤマ原ハラキキリリ中ナカ

石イシ角カド 竹タケ花ハナまままま

大オホ根ネままのノツツ

犬イヌイイノノトトリリ 赤アカ地チ 別ワケ 池イケ

馬ウマ三ミ子コ 池イケ

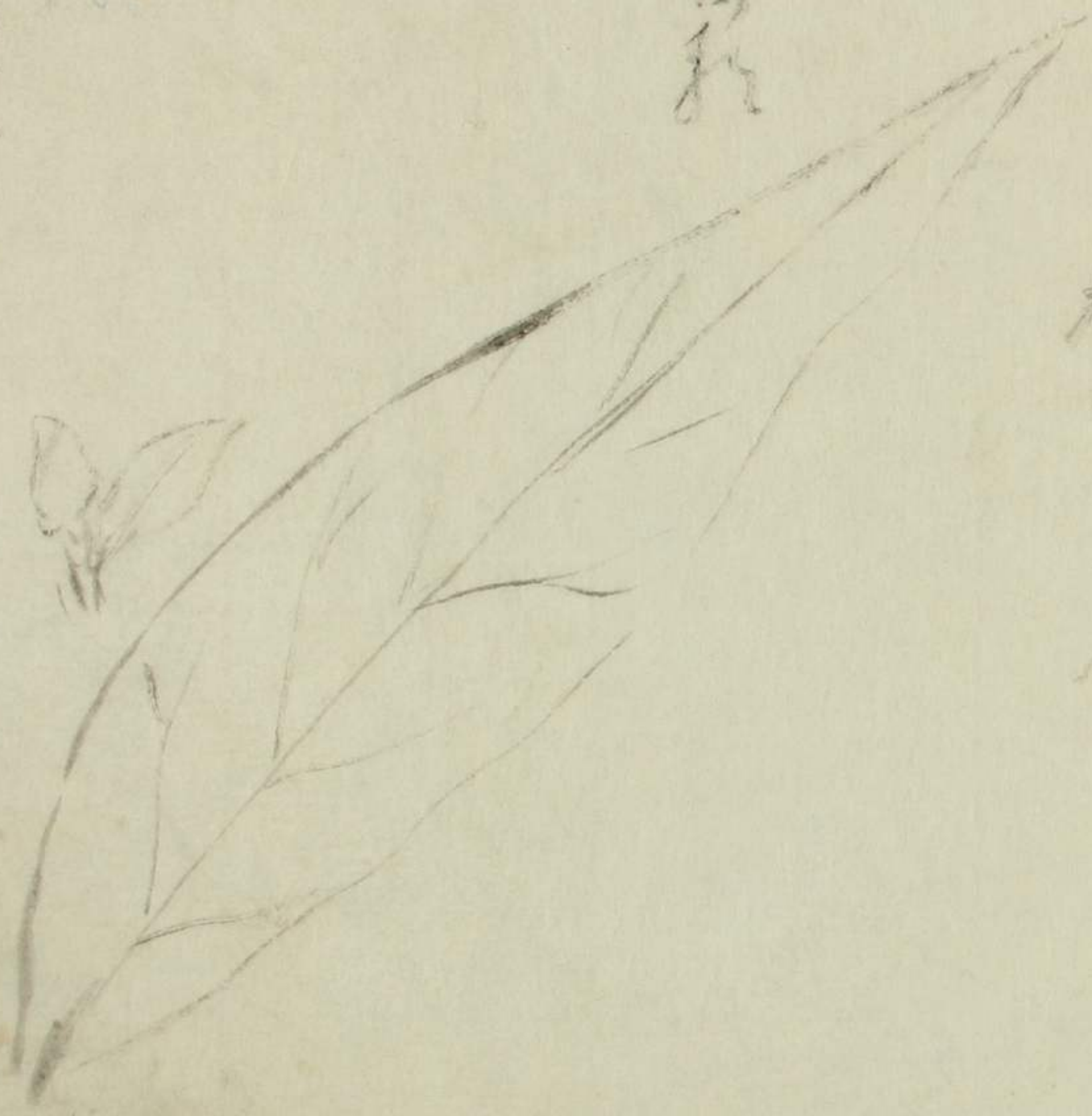
青アヲ花ハナ 赤アカ花ハナ 池イケ

ハハリリクク 木キ

一ヒト雪ユキ 白シロススミミ

柳ヤナギ 花ハナ 池イケ

柳ヤナギ 花ハナ 池イケ 先マテ上ウヘ 似ニ 杜ト 仲チ



山如... 韶序

豪德

狼北壯... 山... 力... 二... 三...

雷... 子...

分... 卷... 夏

大橋... 卷... 表... 於... 西... 城... 而... 老... 焉
大... 母... 北... 國... 極... 土... 木... 之... 情... 且... 植
菊... 不... 如... 百... 後... 後... 增... 如... 子... 自

此

公... 臨... 之... 使... 內... 署... 守... 終... 觀... 賜... 宴
臣... 三... 游... 同... 之... 恭... 賦... 二... 律... 仰... 紀
其... 多... 一... 云... 尔... 时... 十... 月... 十... 九... 日... 也

淮... 園... 舞... 新... 城... 中... 地... 便... 之... 村
桐... 景... 物... 老... 之... 君... 如... 深... 楓... 林... 高... 桂
新... 海... 舍... 者... 相... 送... 一... 律... 一... 度

唐從人落座

仙程迤指尋人移筵近日脚

巡別有南園叢藟菊以換手

鋪家似設花茵

其二

少里園中菊園清保油天
西汶之落其肥以枝粘團實粉

生醴氏撼為鈴訝者聲

銀盤送驛子來宜賜酒紅燒

挑去奴安發紫冰臣仙幸

承恩恩底乞白道遙悠

寵榮

千笑轉

○ 合口鹽 黑 真 駁 一 戎 一

赤鹽 北史

○ 唯在古坤 言 惠 帖

丁 廣 小 志 志 於 物 視

考 考 考

惟 在 古 坤

Ze: Verflame mit Behring,
Her Ocktombe mit Herne,
Her ^{an} degenmwechig meates
Pensilens, is
My, s. Herig

Herne de Herig
de Herne
Herne de Herig
Herne de Herig

王深下為卷十二月二日蘇寸謗

譯

其然先生書崎即古官地好
強不業泰西刊誠之要後

寫為

既能亦深悔心事可足為現
之務為之之之之之之之

劍橋

九系十友

念中五家

聞影冠正外到臨其壯士之雄心平
可等年記并進業其開士之素心平
摩在開口了對心

莊方云

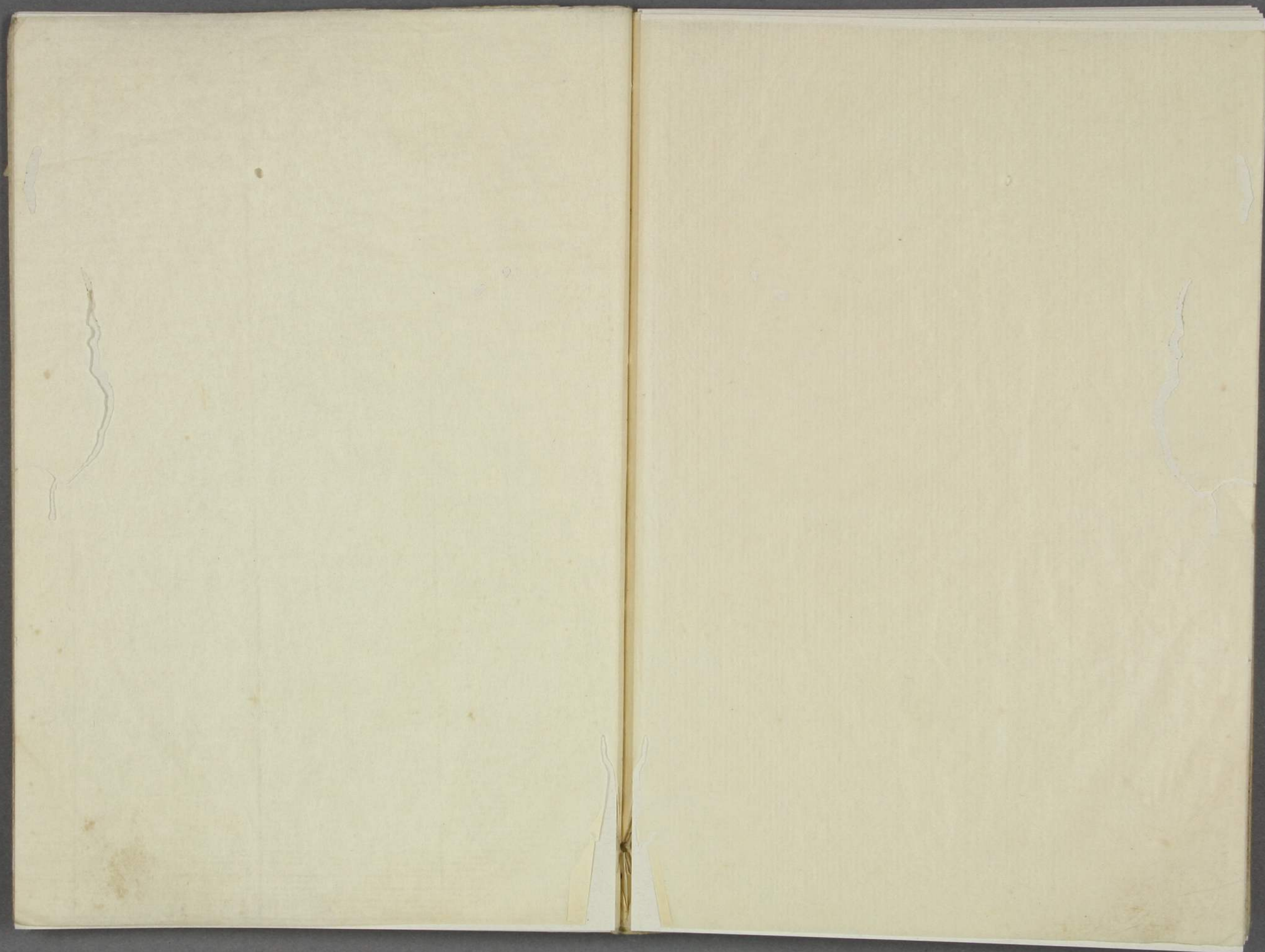
無家

印

林

江
樹

道



豆粉

糖豆粉、太白大豆

二升之入

一升斗、豆粉、大豆、蒸、湯、上

粉、一、二、三、分、粉、湯、上、湯、上

二、三、分、粉、湯、上、湯、上

不、日、二、分、粉、湯、上、湯、上

桶、入、水、粉、湯、上、湯、上

後、水、山、之、石、押、上、上

右、左、右、十、分、粉、湯、上

一、粒、粉、湯、上、湯、上

後、水、山、之、石、押、上、上

右、左、右、十、分、粉、湯、上

五、斗、粉、湯、上、湯、上

三、十、分、粉、湯、上、湯、上

三、十、分、粉、湯、上、湯、上

かたはりのし 後鳥羽 みるまゝ

稱人 平 戸 之 戸 之 戸 柱尾花
衣の も う ら う ら の も と も 志 か ず ん

五歌

う ら う ら 高 か 柱 を 為 す 揚 り 貝
か つ け り の な め た た は た を

鳥 の 目 に 注 ぎ ぬ る 鳥 の 目 に 注 ぎ ぬ る



。 龍眼 一 茶 。

可 河 夕 俗 之 江 文 府

加 味 丸 記

。 田 金 老 所 以 下 目 録 也 友
大 心 考 者 宜 以 漢 書 之 志 力
。 山 田 子 才 源 也 記

石信元 姪 孫 孫
石信元 孫 孫 孫
石信元 孫 孫 孫
石信元 孫 孫 孫

一箇下
池
仲
也
若
表
然

朱
信
元



朱
信
元

朱
信
元



朱
信
元



朱
信
元

古今の事
三十一

有る事
生けり

永く

山田行

針

田村正

抄

抄

長
福
香
ま

